

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

平成 30 年 3 月 30 日

地区名	
事業名	中国帰国者支援事業
団体名及び 代表者名	(団体名) ナルクながの (代表者名) 原田 美登 (連絡先) 長野市大字高田 1029-1 エンドウビル 1 階

## ■事業概要

高齢の中国帰国者（2世）は、日本語が理解できず地域での生活が不自由である。 日本語、生活習慣を教え、更には健康管理の為に運動・料理教室等を行い、地域の一員として生活できる様にする。	【総事業費】 438,253 円 【補助金額】 235,000 円
---	--

## 【活動写真】



※資料等ある場合は添付する。

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

ボランティアとの交流も増え、日本語に接する機会も多くなりました。 教室に通っている帰国者は交流が深まることにより明るく積極的になりました。 それは、自分達の話す日本語が通じる喜びから来ていると思います。こうした変化は地域住民としての意識にも現れると期待します。
--

## ■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	① 支援者達は、日本語を話す機会が増え、歌を覚えたい等 積極性が見られるようになる。			

## ■今後の取組予定

本事業は単年度支援のため、次年度以降は財政的に厳しくなるが、活動内容を縮小しても、引き続き支援に取り組む。
---

＜支所で記入＞

□事業評価（ 篠ノ井 支所）

[評点は5段階評価：1点（悪い）～5点（良い）]

	評価項目	評点	評価説明
事業効果	目的の達成	4	毎回開催される教室には多くの参加者があり、講師やボランティアとの交流が図られた。
	地域等への貢献	4	地域に馴染めないことが多かった中国帰国者が、地域のボランティア等と交流する機会が得られ、相互理解が進んだ。
	事業の継続	4	地域の実情として、篠ノ井地域には多くの中国帰国者が居住しており、今後も自立と地域との相互交流・理解が進むよう事業の継続が望まれる。
	費用対効果	4	帰国者の対象者は少ないが、国際交流や様々な文化交流への機会へと、つながることが期待される。
総合評価		4	地域の様々なボランティアの関与はあったが、参加対象である中国帰国者の数が限定され、広く地域全体に交流や効果を波及させるには至らなかった。 とかく地域に馴染めず自宅に籠りがちな対象者にとっては、本事業は地域交流と参加への良い機会となった。

□支所長コメント

篠ノ井地区には多くの中国からの帰国者が暮らしているが、高齢化と日本語に不慣れなため、地域に馴染めず自宅に籠る傾向にあったが、この事業を通じて、ゴミの出し方・生活に必要な実生活に生かせる日本語教室や地域ボランティアとの交流により、地域との一体感と自らも地域住民としての意識が顕れてきている。

帰国者は得意の水餃子を作り、逆に地域ボランティアからは、おやきの作り方を習うなど、地域内の住民交流の良い機会となり、さらなる事業の継続が望まれる。

篠ノ井支所長